

**世界の AI スタートアップと日本を繋ぐ「VentroX」に、次世代映像伝送の Quram が参画
～低帯域・不安定なネットワーク下での DX を加速。海洋・ドローン・監視分野の「映像の壁」を打破～**

映像技術のスペシャリスト集団であるキュラム株式会社（本社：韓国、以下 Quram）は、株式会社 DXinno（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中健太）が運営するグローバル AI 共創プラットフォーム「VentroX（ベントロックス）」へのリスティングを通じ、日本市場でのパートナーシップ構築を本格化させることを発表いたします。

Quram は、低帯域幅かつ不安定なネットワーク環境でも途切れのない高品質映像伝送を実現する、独自の映像圧縮・ストリーミングソリューション「VXT（Video Crossing Transcoder）」を軸に、日本の産業界との「価値共創」を目指します。

■ 参画の背景：日本市場における「通信環境と DX」の乖離を解消

現在、日本の産業現場では AI やリモートオペレーションによる DX が急務となっていますが、海洋、山間部、移動体（ドローン・車両）といった現場では、通信インフラの制約が高度なソリューション導入の障壁となっています。

Quram は、20 年以上にわたりサムスン電子のモバイル端末 50 億台以上にコア技術を提供してきた実績を持つ、映像最適化の世界的リーダーです。この実証された技術を VentroX を通じて日本の企業に提供することで、通信環境に左右されない「真のリアルタイム・リモート化」を実現します。

■ 「VXT」が解決する、日本企業の 3 つの課題

VXT は、AI 解析の「前段階」である映像伝送において、以下の革新をもたらします。

1. 「繋がらない」を「途切れない」へ

独自のリアルタイム・ネットワーク分析により、帯域変動に合わせて解像度・フレームレートを動的に最適化。衛星通信や不安定な無線環境下でも、業務を止めない安定伝送を維持します。

2. AI 解析効率の最大化（ROI 技術）

画面全体ではなく、人物や異常箇所など「重要領域（Region of Interest）」を選択的に高解像度化。送信データ量を抑えつつ、AI 検知や人間による判断に必要な視認性を確保します。

3. 既存インフラへの容易な統合

ソフトウェアベースのトランスコーダーとして提供されるため、既存のカメラやサーバー環境を活かしたまま、低コストで高性能な映像伝送システムへとアップグレード可能です。

■ VentroX を通じた「価値共創」の展望

Quram は、VentroX に参加する日本の中堅・大企業、SIer、および AI 開発ベンダーに対し、以下の形態での協業を提案します。

- **ジョイントベンチャー・共同開発**
日本の特定産業（建設・防災等）に特化した映像 AI ソリューションの共同構築。
- **PoC（実証試験）の迅速な実施**
日本国内の現場に合わせた最適設計と技術検証の全面支援。
- **AI プラットフォームへの組み込み**
既存の AI プラットフォームの「エッジ〜クラウド間」の伝送エンジンとしての VXT 採用。

■ 実績と信頼性

- **グローバル海運 HMM**
2020 年より船舶モニタリングに導入。衛星通信での安定運用を実証。
- **韓国国防軍（陸・海）**
潜水艦や艦船など、極限の信頼性が求められる環境での採用実績。

■ Quram（キュラム）株式会社について

2001 年設立。高速映像処理およびオンデバイス AI ソリューションの専門企業。世界累計 50 億台以上のデバイスへの技術提供で培ったコーデック最適化技術を武器に、現在は産業・国防・海洋分野の映像伝送においてグローバル展開を加速させています。

■ VentroX（ベントロックス）について

株式会社 DXinno が運営する、世界の未発掘 AI スタートアップと日本企業を繋ぐ共創プラットフォーム。「情報格差をビジネス格差にしない」を掲げ、最先端技術の先行導入や共同イノベーションを支援しています。 URL: <https://ventrox.ai>

【本件に関するお問い合わせ先】

代理店・営業関連の問合せ：担当・田中

広報関連の問合せ：担当・川口

Email: pr@dxinno.co.jp